

地域活性創造グループ基本方針

担当副理事長 入木田 智聡

平成という激動の時代が終わりを迎え新時代の幕開けとなる本年は、都城青年会議所も先輩が紡いでこられた歴史と伝統を継承し「一般社団法人」としての一步を踏み出します。近年、公益社団法人として地域の抱える課題に対し、運動・事業を展開して参りましたが、さらに青年経済人の学び舎としてJCの存在意義とJAYCEEの存在価値を高め、各諸団体と連携を図り、地域発展に寄与する運動の推進力を向上させいく必要があります。

まずは地域社会の青年経済人として人生最善の仕事を行うために、経済についての見識を広げ、現代の時代背景や社会環境から企業経営における問題点を多角的に捉え、若者らしい柔軟な発想を持って、未来を力強く切り拓いていける人材とならなければなりません。そして、企業として地域社会の発展に寄与するために、何のためにこの地で起業し、企業経営を担っているのかを考え、あらゆる事柄にアンテナを張り巡らせながら、青年会議所という社会実験の場を最大限に活用し、企業価値を高めていく必要があります。さらに都城圏域を魅力的な地域へと活性化させるために、歴史や文化、風土に関心を寄せ、日々の生活の中から地域が抱える問題を紐解きながら、まだ眠っている地域資源を掘り起こし、このまちで住み暮らす市民が誇りを持てる意識変革に繋がる事業を展開します。また、市民の郷土愛を深める事業として昇華させるために、継続事業として第5回を迎える「肉と焼酎のふるさと・みやこんじょ花火大会」を関係各諸団体と連携を図り、発展的な創造をもって参加者に喜びと感動を与え、まちの魅力を広く内外に発信する事業を構築します。

青年経済人の学び舎として存在意義を確立したJCから、地域のオピニオンリーダーとしての存在価値を高めたJAYCEEが、「明るく豊かな社会の実現」に向けて、真の市民意識変革運動を力強く推進していくことで、魅力ある未来へと繋がる地域を創造します。